

# ドイツ人医師はQOLが高い?! 日本との違いは? from安先生



このインタビュー企画は、  
チームWADA学生部の田中委員長の記事を偶然見かけた  
ひよっこ of ひよっこ医学生の服部が「僕もやりたいで  
す!」と半分勢いで便乗してまとめてみたものです。  
とりあえずがんばります!

今回の対談メンバーはこちら↓



ゲスト  
安健太 Kenta An  
ドイツ  
カールスブルグ心臓糖尿  
病センター  
心臓外科

インタビュアー  
服部圭真 Keishin Hattori  
日本  
三重大学医学部医学科3年生

ドイツの魅力は何ですか?

1つは症例数が多いことです。ドイツには80しか心臓外科がなく、年間  
の症例数は1000以上になります。症例数が3000を超えるところも少なく  
ありません。つまり、ドイツでは1つの施設にたくさん症例が集まるため、  
いわゆる「センター化」が進んでいると言えます。一方で、日本で600以上  
の心臓外科のうち60%は症例数が100以下です。私の場合、1年間で400~5  
00件ほど手術に参加しました。このおかげで細かい手技のスピードも速く  
なり、全体的なスキル向上を感じることがあります。

なるほど。アメリカに限らず、ドイツでも症例数の多さは日本には無い魅力の1  
つなんですね。

実際、日本人がドイツで働くことは難しいのでしょうか。

敷居が低いとまでは言えませんが、十分にチャンスはあると思います。2  
012年からはドイツの医師免許取得がマストになったので、難易度はかなり  
高くなってきています。しかしながら、現状ドイツの医師の数は不足しており、  
外国人医師でその不足を補おうという姿勢が強いです。心臓外科だと2  
日に1件くらいは求人広告のサイトで募集を見かけますし。募集条件の中  
には、ドイツの医師免許保持に加えて、医学部を卒業する者、ドイツ語を習得  
している者といった記述があります。もしドイツ人しか採用していなかった  
ら、このような記述はいりませんよね(笑) ドイツ語の習得が一番重要で  
かつ大変なことです。ぼくは語学が全然ダメでとても苦労しました。

先生の記事を拝見した際にも、ドイツ語の勉強に苦戦されていたことはひしひ  
しと伝わってきました(笑) (安先生の記事のリンクはaLocにあります!)

ドイツの労働環境はどうですか?

ドイツでは「医者も労働者の1人」として守られており、国民もそれを理解  
しています。決まった時間になったら、即帰宅。起動した時間はしっかり記  
録し、1年のうち6週間(正確には年間29日)でこれに土日を加えておおよそ6  
週間)の有給が義務付けられています。この前、病院の事務に呼び出されて  
何かと思ったら、「有給を取れ!」とすこく怒られました。机叩いてまし  
た。こういった点を踏まえると、医師としてのQOLは高いです。日本人は  
、ドイツの医師に少しドライな印象を受けるかもしれませんが(笑)

これもまた、日本ではなかなかない体験ですね。日本では医師の過重労働が問  
題にもなってますし...

日本では、心臓外科の数が多すぎて1つの施設あたりの心臓外科医の数が少  
ないのが、最大の問題点なんですね。最近はそのようなことが問題視さ  
れ始めているので、少しずつ改善されると嬉しいですね。

海外を視野に入れる学生達に一言お願いします。

英語の勉強はやっておいた方がいいと思います。ちゃんとコミュニケーション  
が出来ないと、信頼を失います。逆に語学が出来ると、多くのチャンスを  
掴めます。あと、1回海外に行くことです。普通の海外旅行でもいいですが  
、もっと深く突っ込んで病院見学とか。国内でも有名病院の見学とか行っ  
てみると、やる気ある他大学の学生達と知り合えるチャンスがあって、そこ  
でいるんな情報が得られたりするのでオススメです。

## 今回の学び

- ① 症例の多さはやっぱり魅力的!
- ② ドイツの医者はQOL高め
- ③ 語学はしっかり勉強しよう!

安先生、ありがとうございました!

